

令和6年度 基本方針・重点目標

愛媛県立図書館

1 基本方針

愛媛県立図書館は、社会の変化に伴って高度・多様化する県民のニーズにこたえるため、「県民にとって役に立つ図書館」を目指し、県民の調査研究や課題解決等を支援するとともに、地域文化の発展に寄与することを目的とする。この目的を実現するため、多様な資料の収集に努め、県民への直接的なサービスと市町の図書館等への支援及び関係機関との連携・協力を通じて、すべての県民に図書館サービスを提供する。

2 重点目標

- (1) すべての人が読書の幅を広げ、読書に親しむことのできる環境づくり
 - ・図書館資料の館内利用や館外貸出において、利用者サービスの向上に努める。
 - ・「愛媛県子ども読書活動推進計画（第五次）」に基づき、ブックトークの実施や読書ボランティアへの研修等の子ども読書活動推進事業をすすめる。
 - ・学習支援用協力図書「まなぼん」について、「みきゃん通帳」の機能を活用して読書傾向の分析を行うとともに、小・中・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校における朝の読書や調べ学習等に積極的な活用を促すことを通じて、子どもの読書機会の確保に努める。
 - ・子どもの読書に関する情報の収集・発信を行うとともに、関係機関との連携・協力を深めるなど、子ども読書支援センターとしての機能の充実に努める。
 - ・中高生向けのYA（ヤングアダルト）コーナーの充実に努めるとともに、学校等と連携して学校図書館の環境整備支援を行うほか、教職員や児童・生徒に対し図書館の活用講座等を実施することにより、情報リテラシー教育の支援に努める。
 - ・「愛媛県障がい者プラン」に基づき、読書バリアフリーの推進に努める。
- (2) 専門的な資料・情報の充実に生涯にわたる学びの支援
 - ・県民の図書館としての機能・役割を果たすための図書館資料整備に努める。
 - ・レファレンスデータベースを構築し、サービスの効率化、高度化を図る。
 - ・ビジネス、医療・健康、子育て支援に関して、関係機関との連携・協力を図ることにより、情報コーナーの充実に努めるとともに、講座・相談会等を開催し、課題解決支援機能の強化を図る。
 - ・ホームページ・広報紙等による情報発信や報道機関の積極的な活用によって、県立図書館の機能・サービス内容・有用性等を広く県民にアピールし、図書館に対する理解と関心を高め、新たな利用者の拡大を図る。
- (3) 郷土資料の収集・保存と情報発信
 - ・本県に関係する歴史資料や俳諧資料等を積極的に展示し、県内外に郷土の歴史や文化を発信する。
 - ・原資料の劣化に備え、貴重な郷土資料のデジタル化を推進し、地域の記録の保存に努めるとともに、学校や県内外の地域研究等に広く提供する。
 - ・各種講演会、講座、研究会を開催し、学習の機会を提供するとともに、県内外の関係機関との連携・協力を努め、地域文化の向上に資する。
 - ・県内の郷土資料・行政資料及び俳諧資料の網羅的な収集に努める。
- (4) 市町立図書館等への支援と連携強化
 - ・市町立図書館等と連携し、県立図書館図書のリクエストサービスを実施するとともに、市町と県立図書館間の資料搬送支援を行う。
 - ・市町立図書館等に対し、蔵書の貸出しや講師の派遣等を通して支援を行うとともに、横断検索システムの円滑な運営に努める。
 - ・市町立図書館職員等の資質・能力の向上を図るため、研修機会の拡充に努める。
 - ・図書館未設置町に対し、出張貸出など必要な支援を行うとともに、図書館の設置に関して助言を行う。
- (5) 安全・安心な施設の整備

- ・耐震壁等の増設・既存壁の補強により耐震性能を確保するとともに、トイレの洋式化・照明器具のLED化等による機能向上を図る。
- ・適正な蔵書管理を図るため、市町図書館との連携による蔵書の共同保存や分担保存等について研究する。

(6) 図書館DX（Digital Transformation）の推進

- ・「第2期愛媛県デジタル総合戦略（令和6年3月改定）」に基づき、郷土資料のデジタルアーカイブ、レファレンスデータベースの構築を充実させる。
- ・デジタル技術の活用による市町図書館及び学校支援、図書館システムの活用による更なる利便性の向上に取り組む。
- ・電子書籍の導入に向けて整備を行うとともに、図書館のデジタル化推進のための調査研究を行う。